

理 専 長 様  
病 院 長 様

社団法人 日本病院会  
会長 山本 修三

「勤務医に関する意識調査」及び「医師確保に係る調査」  
ご協力をお願いについて

拝啓 貴院におかれましては益々ご清栄のことと拝察申しあげます。

日頃より、当会の事業には何かとご協力を賜りまして、厚くお礼申しあげます。

さて、医師の需給に関する諸課題のうち診療科における医師の偏在や地域における医師不足が喫緊の課題として指摘され、議論が進められています。

本会としても病院勤務医から開業医へといった医師のシフトが起こっていることや、医師の間に特定の診療科や地域に行くことを避ける傾向が高まっていることなどに重大な関心をもっております。

つきましては、大変お忙しい中、誠に恐縮ではございますが、下記のとおり勤務医を対象とした「勤務医に関する意識調査」と、管理者を対象とした「医師確保に係る調査」を緊急に実施いたします。ご協力方よろしくお願い申しあげます。

敬具

記

1. 調査名 「勤務医に関する意識調査」…………… 勤務医（常勤）を対象  
「医師確保に係る調査」…………… 管理者を対象
2. 回答期限 平成18年7月28日（金）
3. 回答先 社団法人日本病院会 企画部 一之瀬  
〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3  
TEL 03-3265-0077  
FAX 03-3238-6788、03-3230-2898  
E-mail [ichinose@hospital.or.jp](mailto:ichinose@hospital.or.jp)
4. 注記事項 ①本調査の病院名、個々のデータは公表いたしません。  
②「勤務医に関する意識調査」は2部、「医師確保に係る調査」は1部を同封しました。  
「勤務医に関する意識調査」の不足分はご面倒でも院内でコピーをお願いします。  
できるだけ多くの方のご協力をお願いいたします。  
③なるべく施設毎にまとめて回答の送付をお願いしますが、「勤務医に関する意識調査」はFAXなど個別の回答も受付ます。

以上

## 「勤務医に関する意識調査」

- 注1. 本調査は勤務医（常勤）が対象です。  
注2. 該当する箇所にレ印を付けてください。

- Q. 1 性別  
 1. 男  2. 女
- Q. 2 満年齢（回答記入日）  
 1. 30歳未満  2. 30～39歳  3. 40～49歳  
 4. 50～59歳  5. 60～69歳  6. 70歳以上
- Q. 3 主たる勤務先（アルバイト先を除く）の開設主体は次のどれですか  
 1. 大学  2. 国公立  3. 公的  4. 私的  5. その他
- Q. 4 勤務先の種類  
 1. 単科病院  2. 併科病院（総合）  3. 併科病院（主に内科系）  
 4. 併科病院（主に外科系）
- Q. 5 勤務先の病床数  
 1. 20床～99床  2. 100床～199床  3. 200床～299床  
 4. 300床～399床  5. 400床～499床  6. 500床～
- Q. 6 開設主体の地域は次のどれですか。  
 1. 北海道  2. 青森  3. 岩手  4. 宮城  
 5. 秋田  6. 山形  7. 福島  8. 茨城  
 9. 栃木  10. 群馬  11. 埼玉  12. 千葉  
 13. 東京  14. 神奈川  15. 新潟  16. 富山  
 17. 石川  18. 福井  19. 山梨  20. 長野  
 21. 岐阜  22. 静岡  23. 愛知  24. 三重  
 25. 滋賀  26. 京都  27. 大阪  28. 兵庫  
 29. 奈良  30. 和歌山  31. 鳥取  32. 島根  
 33. 岡山  34. 広島  35. 山口  36. 徳島  
 37. 香川  38. 愛媛  39. 高知  40. 福岡  
 41. 佐賀  42. 長崎  43. 熊本  44. 大分  
 45. 宮崎  46. 鹿児島  47. 沖縄
- Q. 7 現在の勤務先（アルバイト先を除く）での立場は次のどれですか。  
①一般勤務医  
 1. 院長、副院長、診療部長クラス  2. 科部長、医長クラス  
 3. 医師・医員  4. 研修医  5. その他
- ②大学勤務医  
 6. 教授  7. 助教授  8. 講師  9. 助手  
 10. 医員  11. 研修医  12. 大学院生  
 13. 研究生
- Q. 8 Q. 7の「①一般勤務医」の方にお尋ねします。現在の勤務先での立場は次のどれですか。  
 1. 赴任  
 2. 大学からの出張（一年以上の予定）  
 3. 大学からの出張（一年未満の予定）  
 4. その他

- Q. 9 「常勤医師」の方にお尋ねします。人事は次のどれですか。
1. 大学人事       2. 自分の意志       3. その他
- Q. 10 Q. 9で「1. 大学人事」と答えた方にお尋ねします。自分の意志が尊重されましたか。
1. 尊重された       2. ある程度された       3. 全くされない
- Q. 11 現在の主たる診療科目又は就業内容は何ですか。  
(一つだけお答えください)
1. 内科       2. 総合診療科       3. 心療内科  
 4. 精神神経科       5. 神経内科       6. 呼吸器科  
 7. 消化器科(胃腸科)       8. 循環器科       9. アレルギー科  
 10. リウマチ科       11. 小児科       12. 外科  
 13. 整形外科       14. 形成外科       15. 脳神経外科  
 16. 呼吸器外科       17. 心臓血管外科       18. 小児外科  
 19. 皮膚科       20. 泌尿器外科       21. 性病科  
 22. 肛門科       23. 産婦人科       24. 眼科  
 25. 耳鼻咽喉科       26. 気管食道科       27. リハビリテーション科  
 28. 放射線科       29. 麻酔科       30. 基礎医学科  
 31. 臨床検査科・臨床病理科  
 32. 行政職       33. 検診業務       34. その他
- Q. 12 勤務先での一週間の勤務時間  
(当直を除く常時の状況でお答えください)
1. 32時間未満       2. 32～40時間未満  
 3. 40～44時間未満       4. 44～48時間未満  
 5. 48～56時間未満       6. 56～64時間未満  
 7. 64時間以上
- Q. 13 勤務時間(医師個人)は5年前と比べて変わりましたか。
1. 減った       2. 増えた       3. 変わらない
- Q. 14 Q. 13で「2. 増えた」と答えた方にお尋ねします。  
医師の負担が増えた理由は何ですか。
1. 患者数および診療時間が増えたほど医師が増えていない  
 2. 書類を書く時間が増えた  
 3. IT化  
 4. 会議その他が増えた  
 5. その他
- Q. 15 Q. 13で「2. 増えた」と答えた方にお尋ねします。  
医師の負担を減らすにはどうしたらよいですか。(複数回答可)
1. 医師を増やす  
 2. 医師以外の職員に業務を移す  
 3. IT化など組織の効率化を図る  
 4. その他〔自由意見〕

- Q. 16 あなたは「夜間当直」をされますか。  
 1. する             2. しない
- Q. 17 Q. 16で「1. する」と答えた方にお尋ねします。1カ月の平均「夜間当直」は何回位ですか。  
 1. 2回以内     2. 3～4回     3. 5～6回     4. 7回以上
- Q. 18 Q. 16で「1. する」と答えた方にお尋ねします。「夜間当直」の翌日はどのようにしていますか。  
 1. 翌日は半日又はそれ以上代休がある。  
 2. 特に忙しかった当直の翌日のみ、少し仮眠をとれる。  
 3. 忙しさと無関係に翌日は普通勤務せざるをえない。
- Q. 19 あなたの勤務先では週休2日が実施されていますか。  
 1. 未実施         2. 4週5休     3. 4週6休     4. 4週7休  
 5. 4週8休     6. その他
- Q. 20 Q. 19で「2. 3. 4. 5.」と答えた方にお尋ねします。その週休をどれだけ消化されていますか。  
 1. 代休も含めればほぼ全部消化             2. 時々返上（返上1／2未満）  
 3. しばしば返上（返上1／2以上）         4. 殆ど返上
- Q. 21 医療過誤の報告が増えています。医療過誤の原因として、医師の勤務状態との関連をどのように考えますか。一般論としてお答えください。医療過誤は、事故からヒヤリハットまで含みます。（複数回答可）  
 1. 過剰な業務のために慢性的に疲労している  
 2. 患者が多く一人当たりの診療時間、密度が不足がちである  
 3. 医療スタッフの連携が不十分である  
 4. 医療事故防止システムが整備されておらず、個人の努力に任されている  
 5. 医療技術の高度化、医療情報の増加のために医師の負担が急増している  
 6. その他〔自由意見〕

.....

.....

.....

.....

- Q. 22 医事紛争の経験がおありですか。  
 1. ない  
 2. ある（訴訟された）  
 3. ある（紛争にはなったが結局訴訟されずに終わった）  
 4. その他〔自由意見〕

.....

.....

.....

.....

Q. 23 医事紛争への現状の対応について、診療への影響はどの様に考えますか。

- 1. 安全意識が高まる
- 2. 防御的、萎縮医療になりがちになる
- 3. なんともいえない

Q. 24 平成16年度から開始された臨床研修医制度必須化についてどう思われますか。それぞれに関し、主な理由をご回答ください。

1. 良い点〔主な理由：

.....

.....

.....

2. 悪い点〔主な理由：

.....

.....

.....

Q. 25 今後の大学医学部、医局のあり方についてどう思われますか。

- 1. 学生教育、研究、大学での臨床に限定する
- 2. 今まで通りに関連病院への医師派遣機能をもつ
- 3. 卒後臨床研修は市中病院で行い、将来専門的臨床及び研究を志す者を大学での後期研修として受け入れる
- 4. その他〔自由意見：

.....

.....

.....

Q. 26 あなたはへき地病院に（今後も）勤務したいですか。

- 1. へき地病院に勤務したい
- 2. 条件が合えばへき地病院に勤務したい
- 3. へき地病院には勤務したくない
- 4. どちらとも言えない

Q. 27 主にどのような条件が合えばへき地病院に勤務したいですか。（複数回答可）

- 1. 勤務する期間
- 2. 医師公舎等の生活環境
- 3. 子どもの教育等家庭の問題
- 4. 当直回数や休日の確保
- 5. 各種学会への参加等研修機会の充実
- 6. その他〔自由意見：

.....

.....

.....

Q. 28 勤務医不足の要因について

①その原因（特に関係あると思われるもの3項目にレ印を付けてください）

- 1. 新臨床研修医制度
- 2. 大学の医師引き揚げ（医局制度）
- 3. 女性医師の増加
- 4. 過酷な労働環境
- 5. 病院医療の高度化、細分化による相対的医師不足
- 6. 開業医の増加
- 7. 医局の崩壊
- 8. 開業医との所得格差
- 9. 国民・マスコミの医療への過度な安全要求
- 10. その他〔自由意見：

.....

.....

.....

.....

②その対策（複数回答可）

- 1. 国が医学部の定員数増、前期研修を含め医師の適正配置に責任を持つべきである
- 2. 都道府県に開業制限、地域別（二次医療圏別の医師配置数・保険医指定等の強制力を持たせる
- 3. 病院の自助努力にまかせる
- 4. その他〔自由意見：

.....

.....

.....

.....

Q. 29 あなたは将来開業を志向しますか。

- 1. 近い将来（2年以内）開業する予定
- 2. 開業を志向しているが予定は立っていない
- 3. 状況によっては開業することも考えている
- 4. 開業しないつもり
- 5. わからない

Q. 30 Q. 29で「1. 2. 3.」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。

- 1. 病院勤務が過酷
- 2. 給与が安い
- 3. 老後の対策
- 4. 職場の人間関係
- 5. 休暇の確保
- 6. 住居地の問題、家庭の事情
- 7. その他

Q. 3 1 勤務医の地域偏在は何故起こったかと思われませんか。

(特に関係あると思われるもの3項目にレ印を付けてください)

- 1. 子供の教育、文化的環境の地域格差
- 2. プライマリケアに関する医学教育の軽視
- 3. 大病院の都市部集中
- 4. 新臨床研修医制度
- 5. 医療政策の貧困による医師の不適正配置
- 6. その他〔自由意見〕

.....

.....

.....

.....

Q. 3 2 医師を志望した動機と現在の仕事を比較し、初志が達成されていますか。

- 1. 達成している
- 2. 達成していない
- 3. どちらとも言えない

Q. 3 3 日本病院会を知っていますか。

- 1. 知っている
- 2. 知らない

病 院 名	
所 在 地	〒
回 答 者	(所属) (役職) (氏名)
電 話 番 号	
F A X 番 号	

ご協力ありがとうございました。

## 地域医療委員会 委員名簿

会 長	山 本 修 三	神奈川県済生会理事
副会長（担当）	池 澤 康 郎	中野総合病院理事長
委 員 長	林 雅 人	平鹿総合病院総長
副委員長	渡 部 透	新潟南病院院長
委 員	舘 田 邦 彦	市立旭川病院顧問
委 員	夏 川 周 介	佐久総合病院院長
委 員	松 本 文 六	天心堂へつぎ病院理事長
委 員	真鍋 克次郎	八幡中央病院理事長
委 員	吉 井 宏	済生会神奈川県病院院長

社団法人 日本病院会

〒102-8414  
東京都千代田区一番町13-3  
TEL 03-3265-0077